

# 令和3年 建設業死亡災害の概要

神奈川労働局  
令和3年6月末現在

番号	発生月 発生時刻	業種 事業場規模 被災者の年齢層	起因物 事故の型	発生概要
1	1月 14時頃	建築工事業 10人～29人 50歳～54歳	建築物、構築物  崩壊、倒壊	家屋解体工事において、敷地境界線沿いのコンクリートブロック塀を敷地内に倒すため、斫りハンマー（ガソリンエンジン式）で塀の土台との境を横に斫る作業を行い、ほぼ終えたところで塀（長さ約15m、重量約1.8トン）が敷地内に倒れ下敷きになった。
2	2月 15時頃	土木工事業 100人～299人 25歳～29歳	建築物、構築物  崩壊、倒壊	トンネル工事において、掘削土砂の処理プラントのホッパーが詰まったため、ホッパー下端の土砂排出口と排出コンベヤーの隙間からホッパー内に入り、スコップ等で詰まりをかきだしていたところ、詰まりが取れて崩れ落ちてきた土砂の下敷きになった。
3	3月 10時頃	土木工事業 30人～49人 70歳～74歳	その他の乗物  交通事故（その他）	作業船（総トン数5トン未満）に測量士を乗せ海底を測量中、船底が消波ブロックにぶつかり傾いたので最寄りの漁港に避難した。棧橋に係留後、船長（船員に該当しない労働者）が船上で破損状況を確認中、急速に沈み始め、約10秒で沈没した際に、海中に吸い込まれた。
4	4月 11時頃	建築工事業 ～9人 75歳～79歳	丸のこ盤  切れ、こすれ	被災者は手持ち式丸のこ機械（手持ち式ディスクグラインダのアタッチメントを外径125ミリメートルの石こうボード用丸のこに交換したもの）を持って木造建築物の内壁を切除中、当該丸のこ機械を落とした際に自身の太ももに切創を負い、出血多量となった。
5	5月 10時頃	建築工事業 ～9人 50歳～54歳	高所作業車  はさまれ、巻き込まれ	高速道路料金所の表示板交換工事において、被災者はブーム式高所作業車の作業床（バケット）に一人で乗り込み作業していたところ、料金所天井に背中を付け、胸がバケット上縁（手すり部分）に押し上げられる形ではさまれている状態（胸部圧迫による窒息状態）でいるのが発見された。
6	6月 8時頃	土木工事業 ～9人 55歳～59歳	高所作業車  感電	ゴルフ場のコース改修工事において、高所作業車（伸縮ブーム・バスケット・トラック型）に2人が乗り込み、チェーンソーを使って樹木を上から段階的に伐採していたところ、66,000ボルト送電線にバスケットが接触し、2人とも死亡した（1次下請の労働者）。
7	6月 8時頃	土木工事業 ～9人 45歳～49歳	高所作業車  感電	同上（2次下請の労働者）

死亡災害の概要の掲載内容については、未確定のものであり、調査の進展とともに、変更（業務に起因しない場合における事案の削除を含む。）を行う可能性があります。

8	6月 14時頃	建築工事業 ~9人 50歳~54歳	玉掛用具  飛来、落下	6階建てビル新築工事において、屋上に設置した低床ジブクレーンで、バスダクトを積んだパレット2枚(高低差のある2連吊りで合計約500キログラム)を楊重していた。高さ30メートル付近で、バスダクト約350キログラムを積んだパレットのナイロンスリングが2本ともクレーンのフックから外れ、地上で別作業を準備中の2次下請の被災者の上に落下した。
9	6月 9時頃	土木工事業 ~9人 55歳~59歳	水  おぼれ	河川修繕工事において、水深3.5メートルの川底から水深0.4メートルまで岸に沿って洗堀防止用の捨石を積んでいた。水流接触部分に積んだ捨石入り網袋の列の頂上をロープで連結するため、被災者が捨石の上で作業中、川の深いところで溺れた。

死亡災害の概要の掲載内容については、未確定のものであり、調査の進展とともに、変更（業務に起因しない場合における事案の削除を含む。）を行う可能性があります。